

地域新電力の可能性と今後

2023年7月19日(水)

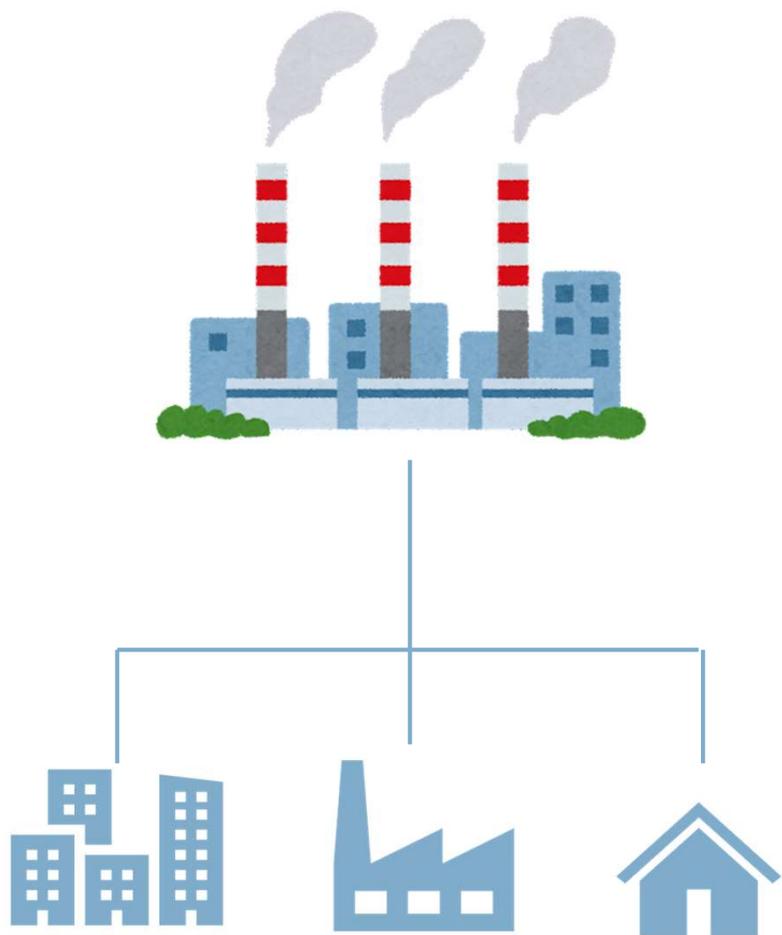
秩父新電力株式会社

秩父市の概要

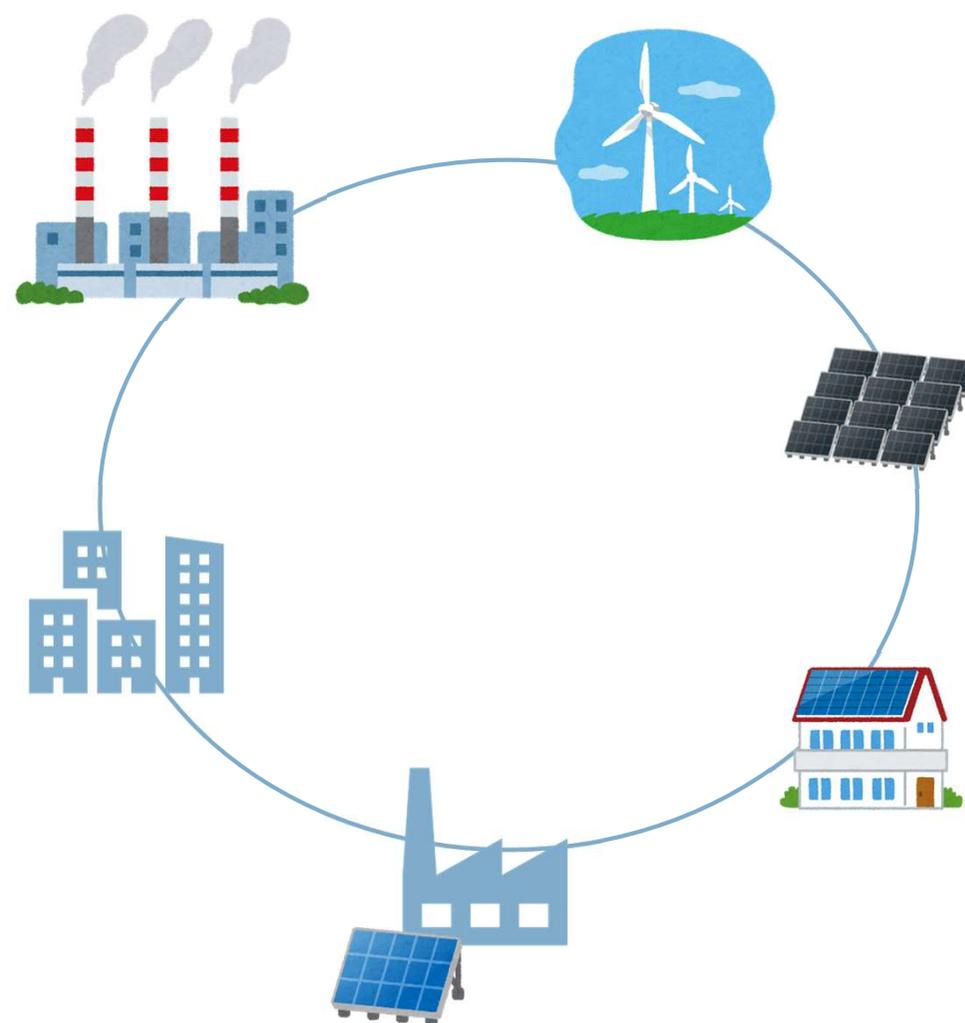
- ・森林が87%
- ・ダムが4つ、水力発電所が9カ所
- ・系統連携制約エリア
- ・2045年には人口が▲35%という予測

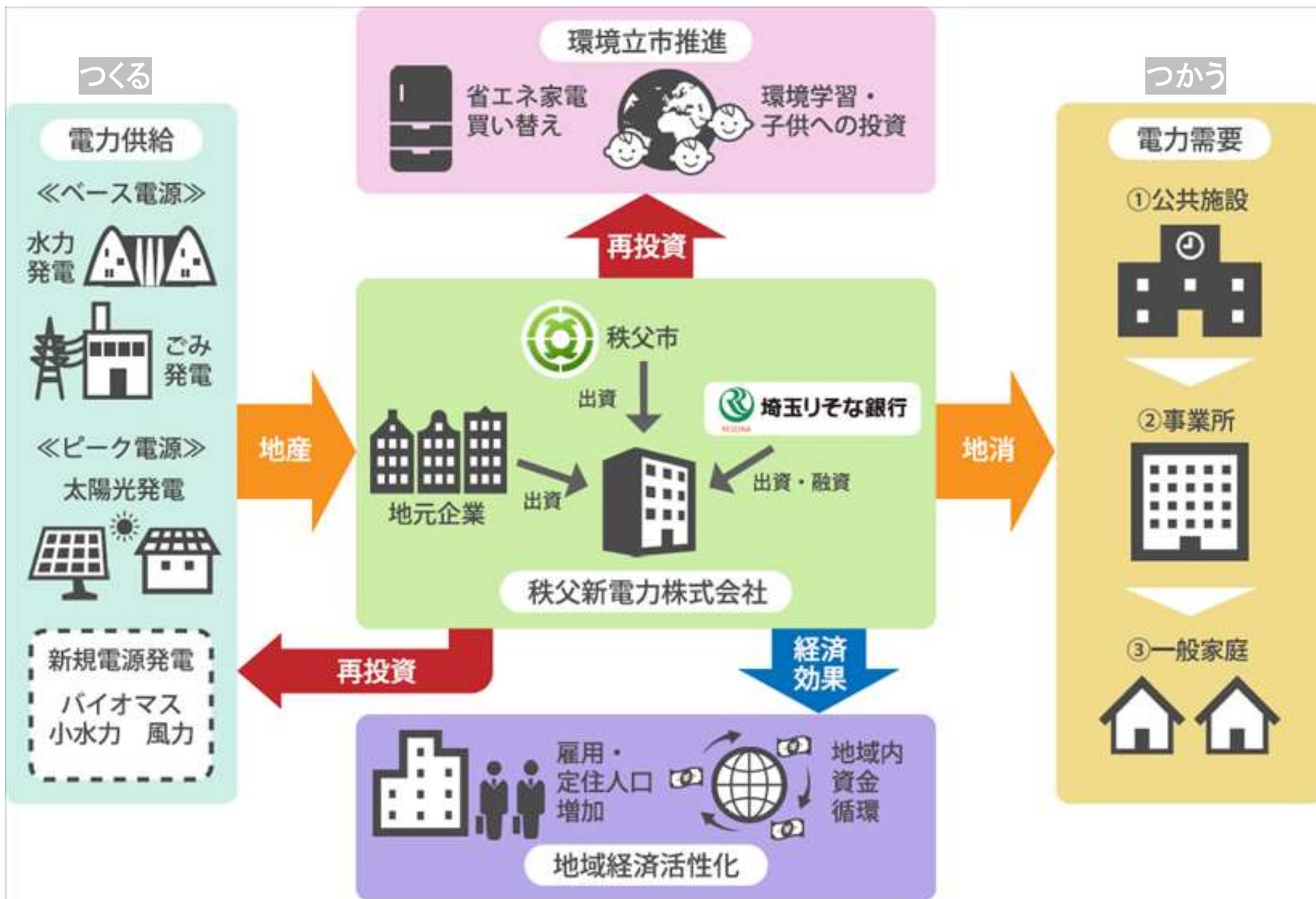


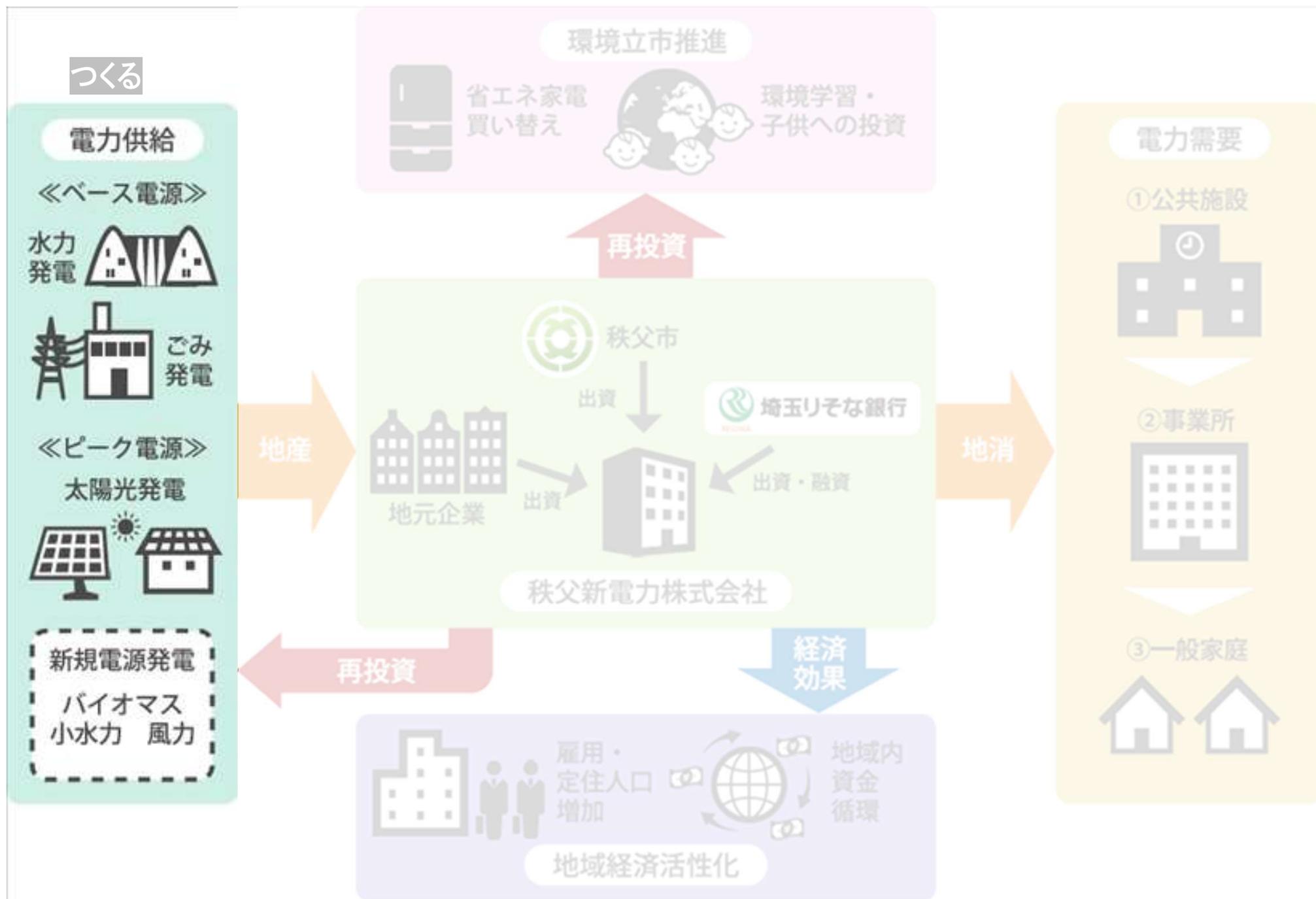
これまで



これから







ちちぶ産の再生可能エネルギー

ちちぶ産の再生可能エネルギー（FIT電気含む）の電気を優先して調達しています。





【募集】ちちぶEcoサポータープラン

⚡ 卒FIT太陽光を売っていただくことで

ちちぶの

Ecology (低炭素化) と

Economy (地域経済) を

応援 することができます！



プラン **A**

8.7 買取単価
円/kWh

プラン **B**

8.5 買取単価 + **3** 地域通貨
円/kWh 千円(1回)

ちちぶ地域へのEco応援効果

電力の地産地消

Max.

+3%

CO2 排出

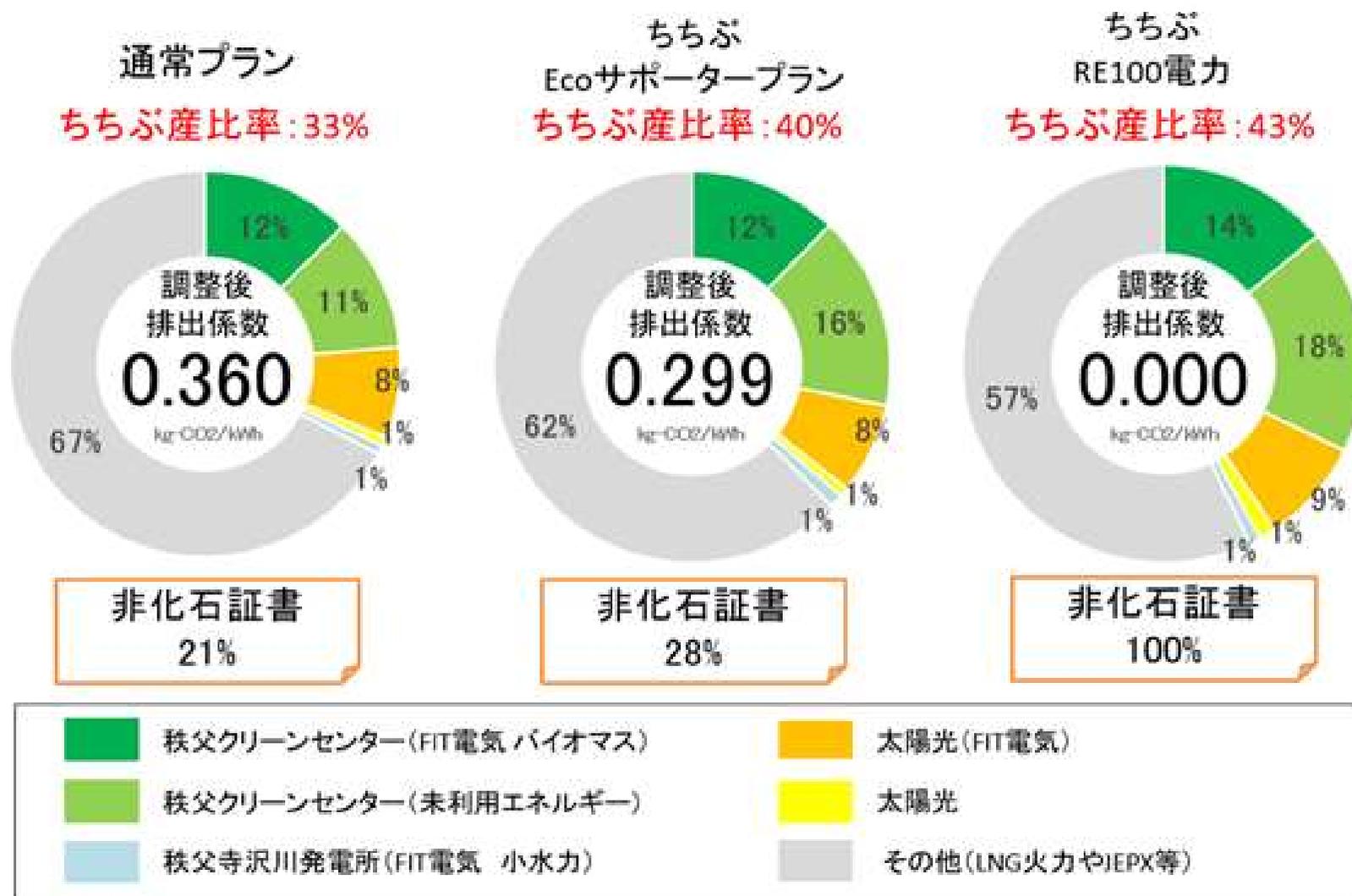
-3%

経済効果

Max.

3 百万円

※100件での年間効果の試算結果

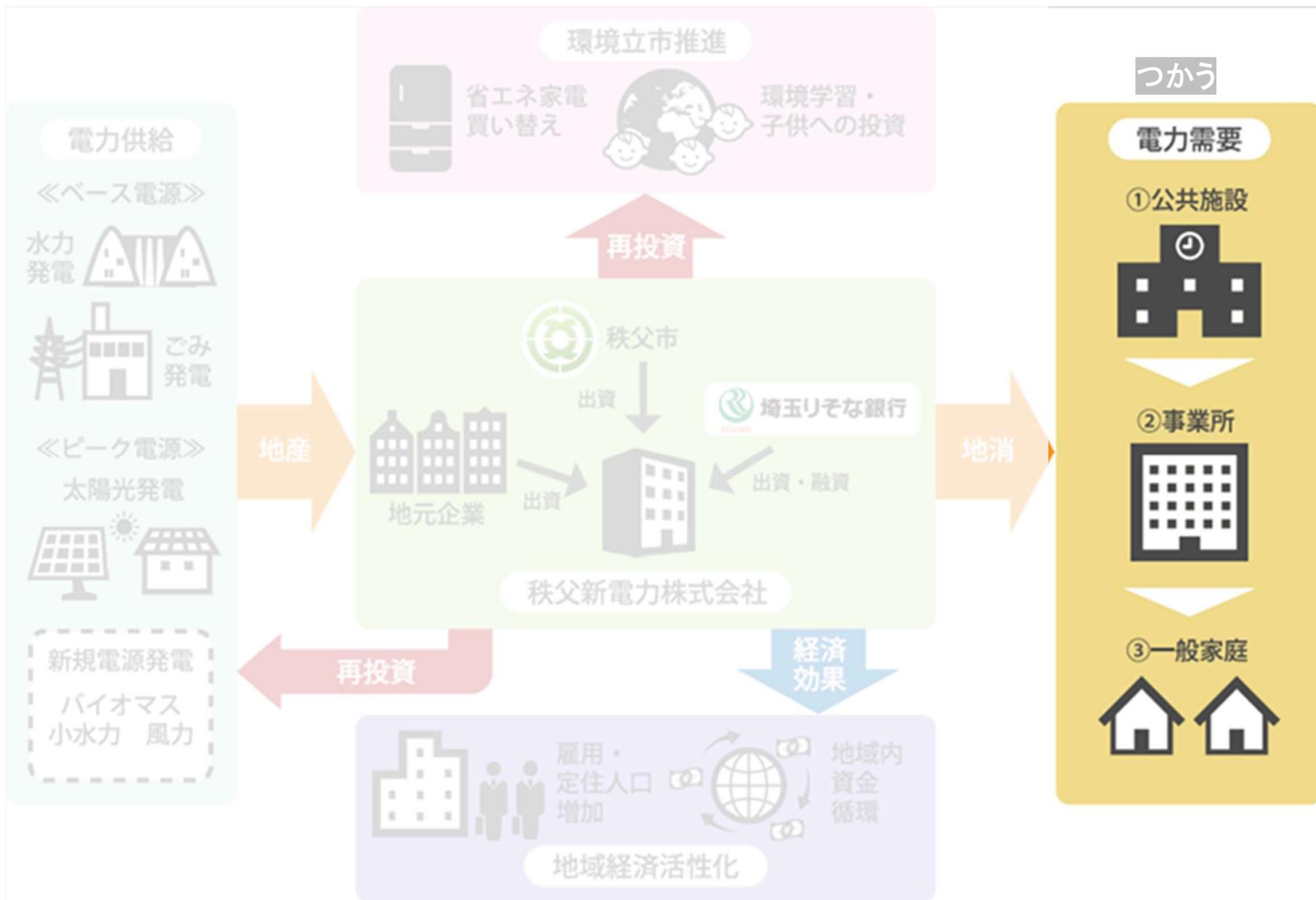


※1: FIT電気とは、太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスの再生可能エネルギー電源を用いて発電され、固定価格買取制度(FIT)によって電気事業者に買い取られた電気のことです。当社がこの電気を調達する費用の一部は、当社のお客さま以外の方も含め、電気をご利用の全ての皆様から集めた賦課金により賄われており、この電気のCO2排出量については火力発電なども含めた全国平均の電気のCO2排出量を持った電気として扱われます。

※2: FIT電気分に環境価値を持つ非化石証書等を組み合わせることで、実質的に再生可能エネルギーを提供(当該電力はCO2排出量も0となります)しております。

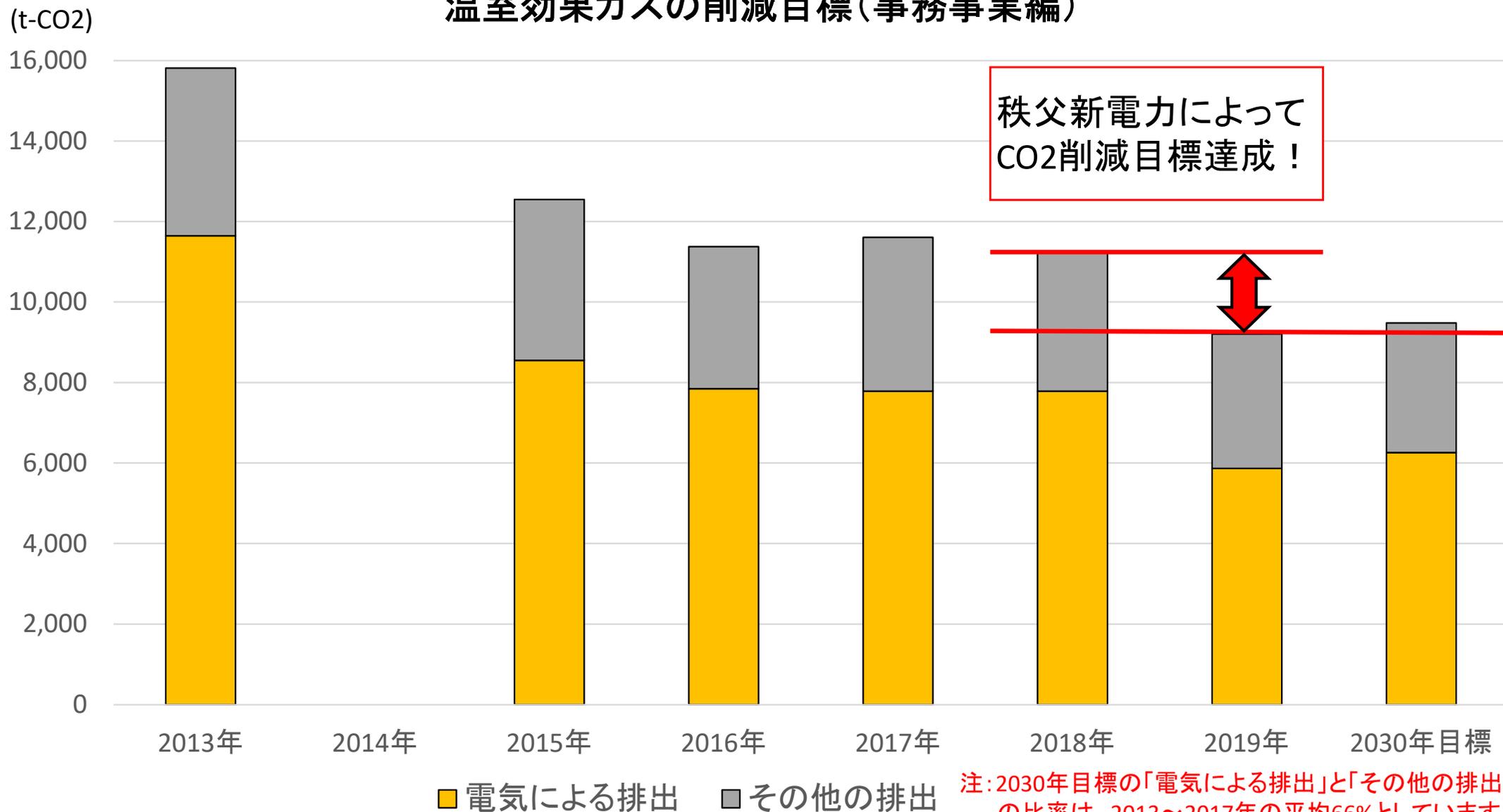
経営理念に基づいて需給管理業務は自社で実施





- 秩父市では公共施設のCO2排出量を2013年比で2030年までに40%削減する目標を設定。
- 秩父新電力の電力に切替えることで2030年目標値を前倒しで達成。

温室効果ガスの削減目標(事務事業編)



秩父市は2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」に取り組むことを宣言します

① 「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組むことを宣言します

秩父市では、2050年までに市内の二酸化炭素（CO2）排出量実質ゼロ※を目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組むことを埼玉県の実体で初めて宣言します。

今後、「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、各種の取り組みを進めます。

※CO2の人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成すること。

② 取り組み内容

- 市が出資する地域新電力会社「秩父新電力株式会社」と連携し、市内の再生可能エネルギーによる電源開発等の事業に取り組み、「ゼロカーボン電力」の提供の実現を図ります。
- 市内の先進モデルとして、現状の市公共施設の温室効果ガス排出量削減目標について、「現状目標の達成年度の前倒し」および「排出量ゼロ」に向けた取り組みを進めます。
- その他、「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、計画的に各種施策を推進します。

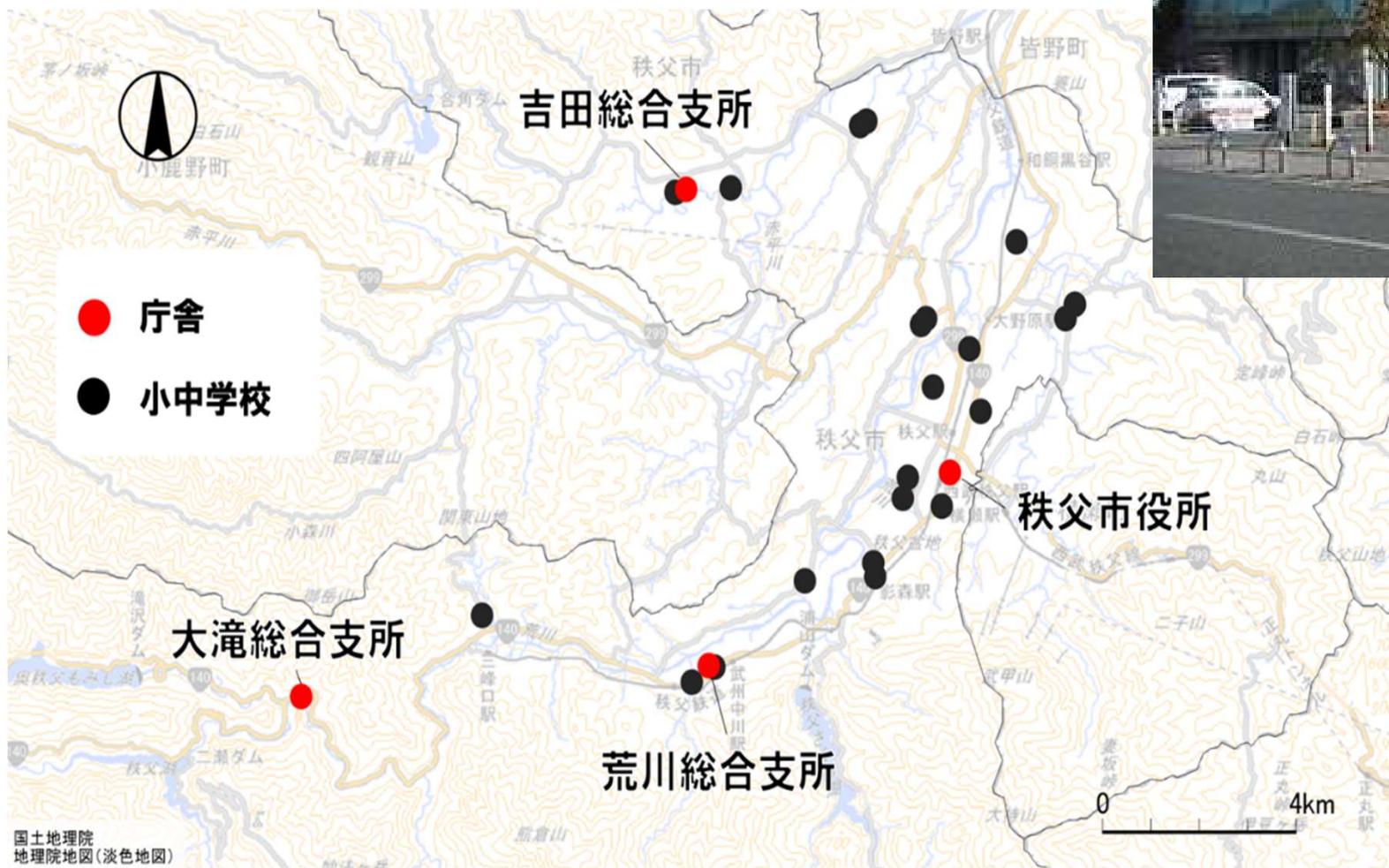
出典：秩父市HP <http://www.city.chichibu.lg.jp/7936.html>

秩父新電力の役割

低炭素電力の長期的安定供給

市役所をはじめとした **27施設**で **CO₂排出ゼロ**に！

秩父市役所



地域を元気に

上流

再エネ資源は豊富
だけど
需要が少ない



下流

需要は多い
けど
再エネが作れない

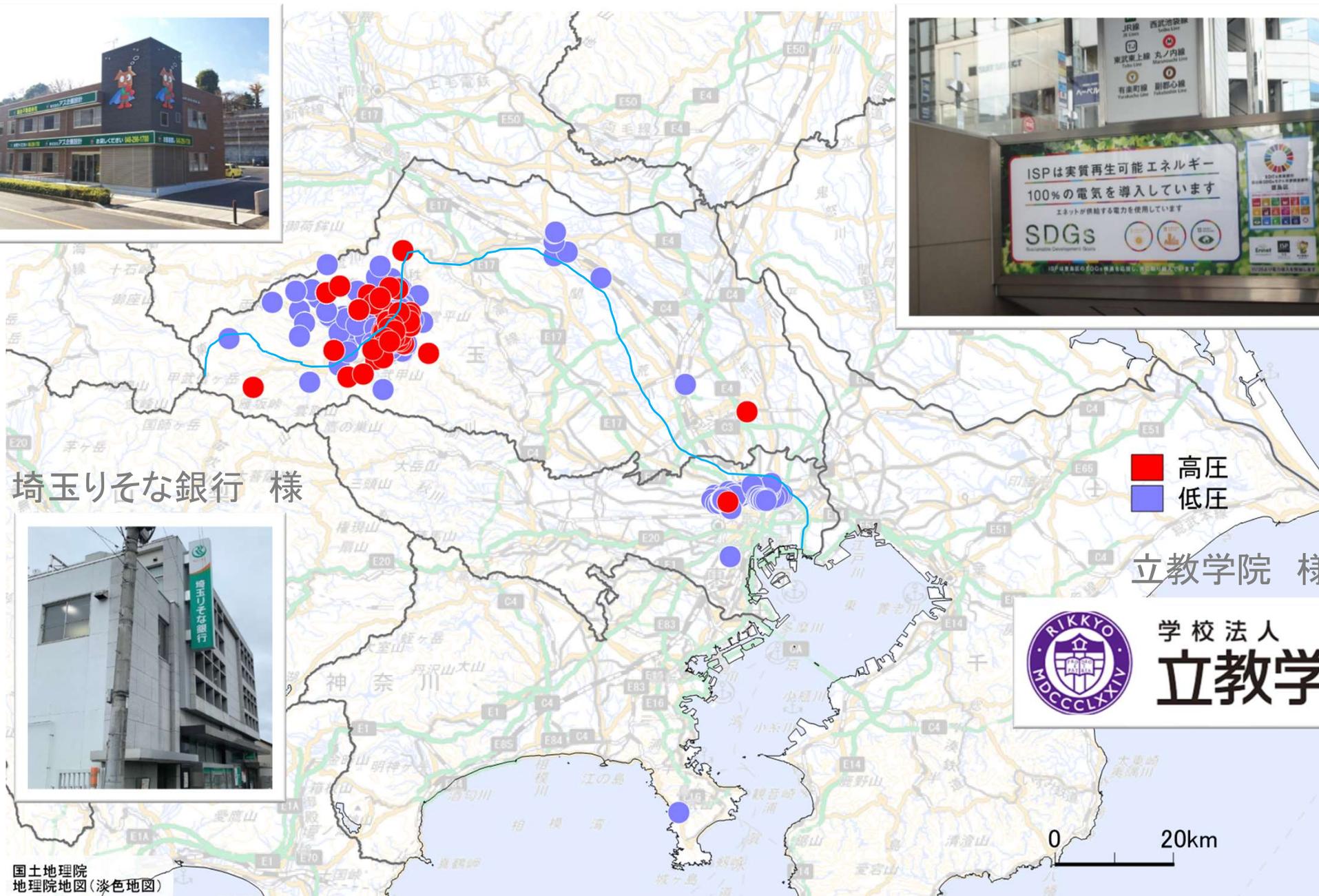


CO₂削減

アズ企画設計 様



池袋ショッピングパーク様



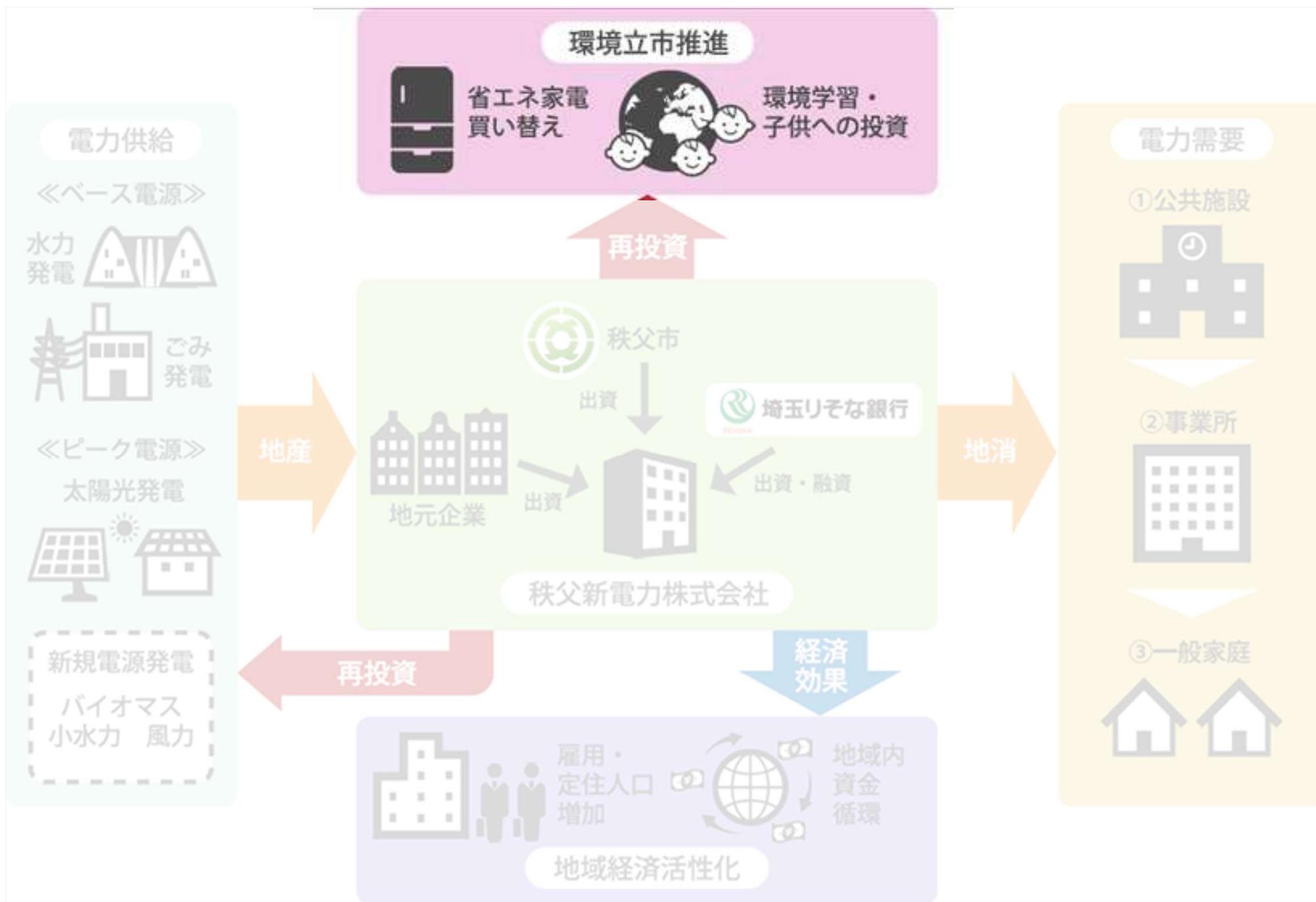
埼玉りそな銀行 様



立教学院 様



国土地理院
地理院地図(淡色地図)



西武鉄道

環境活動・地域貢献活動プロジェクト

あれも、
これも、
かなう。
西武鉄道

西武鉄道 × 秩父エリア

第26回 環境活動ご報告 2020年8月13日(木)



「52席の至福」で 西武秩父駅へ

通常運行とは異なる特別運行の「52席の至福」では秩父産の食材を使用した食育ワークショップを実施。しいたげを使った生ぶりかけ、醤油を使ったドレッシングを作り、昼食のお弁当にかけて楽しみました。



秩父市 エコワークショップ

地球温暖化やそれに基づいた秩父市にあるダム役割について学習しました。秩父市役所と秩父新電力の方にクイズや映像でわかりやすく説明していただきました。



秩父市 ダム見学

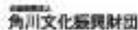
エコワークショップで紹介された秩父にある4つのダムの一つ「浦山ダム」を見学しました。大きなダムを下から見上げるのは圧巻でした。



秩父市 鍾乳洞見学

浦山ダムの下に位置する「横立鍾乳洞」を見学しました。中は真っ暗がり上り坂と大変でしたが、ライトアップされて幻想的で迫力がありました。

私たちは、西武鉄道の「環境活動・地域貢献活動プロジェクト」を応援しています。



総括

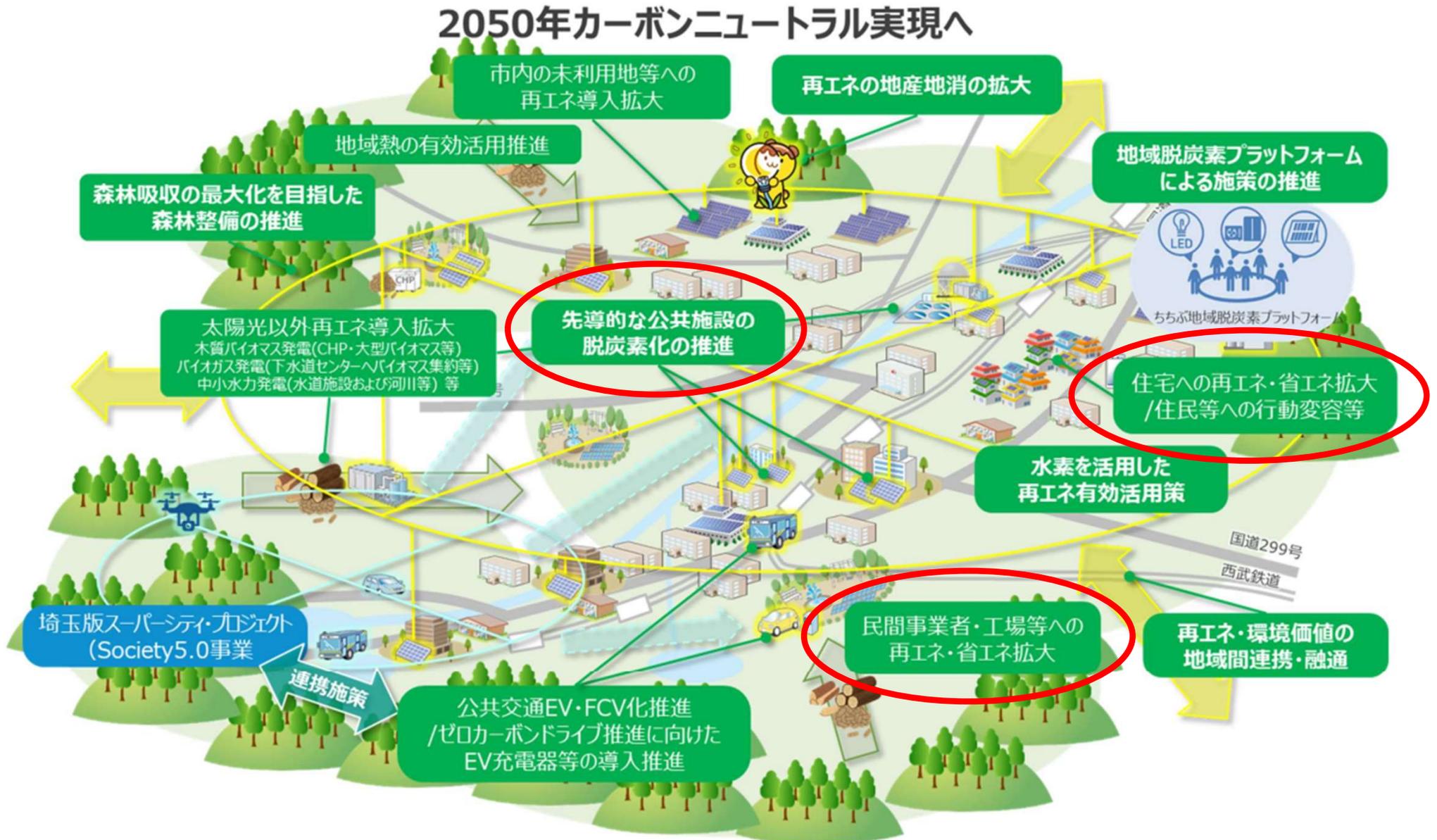


西武鉄道 環境活動・地域貢献活動 プロジェクト

秩父エリアの各自治体が推進する地域貢献活動に、西武鉄道が沿線内外からの参加者（バイオニア）を誘致することで、秩父エリアをはじめとする沿線各地域の活性化を牽いております。第26回の活動では「52席の至福」の車内では食育ワークショップを通して秩父の食文化について学びました。また、エコワークショップや浦山ダム、横立鍾乳洞の見学を通して秩父にあるダムの重要性などを知ることができました。

秩父新電力の今後

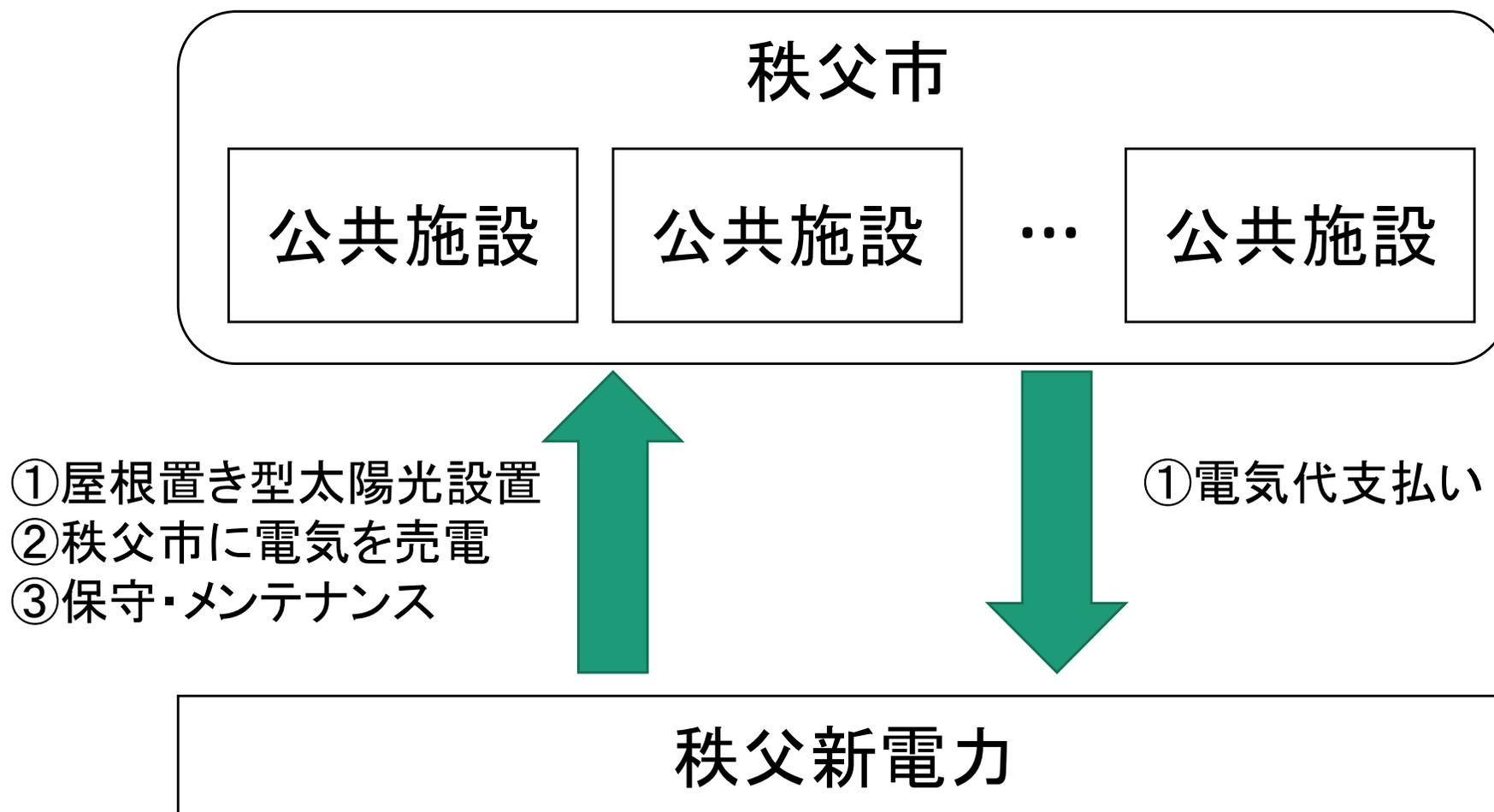
つくとつかうをつなげる会社



図IV-1(2) 地域脱炭素に向けた将来ビジョン(目指す姿)

1. 屋根置き型太陽光発電の推進

- ・ 秩父市と連携し、政府補助金を活用して、非FIT太陽光の屋根上設置を推進
- ・ 需要家は太陽光の電気を自家消費することで、電気代の低減を図る
- ・ 余剰電力は秩父新電力が買電し、地消することで、地域低炭素化につなげる



ちちぶから
地域の未来を照らす



ご清聴ありがとうございました

(秩父市街地)

